

第 122 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 6 年 1 月 23 日 (火)
- 2 開催場所 豊田屋旅館
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 9 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
 - 今井陽子 / 小澤健一 / 風間隆之 / 風間まり子
 - 佐藤正幸 / 富田充慶 / 竹中隆 / 田中美由紀
 - 吉井照雄
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
 - 相京恵 / 清水一希 / 高井俊一郎 / 吉村巳之
 - ラジオ高崎 3 人
 - 代表取締役社長 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 執行役員放送局長 田野内明美
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 新番組「ビジネスパワープレイ」について
(12 月 21 日および 28 日の本放送済み音源)
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 6 年 3 月 17 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。

- 特別番組「二葉の部屋」(11/5、11/21、12/13)
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot vol.11
北村明日人 ピアノ・リサイタル (11/16)
- 西山小雨のシモキタ音マルシェ (11/29)
- 交通安全特別番組 飲酒運転ゼロへの誓い (12/1～12/10)
- One from the Heart Takasaki (12/24、1/9、1/21)
- &RADIO クリスマスマーケット SP (12/23)
- ホリデーパーティ 2023 (12/24)
- &RADIO 全員集合スペシャル (12/30)
- ラジオ高崎新聞 前編 (12/30)
後編 (12/31)
- 高崎だるま市 特別番組”新春リクエストまつり” (1/1)
- 新春市長対談特別番組 (1/1、1/2、1/5、1/30)
- 新春落語 2024 (1/3、1/16、1/20)

今後放送予定の特別番組

- 吉永哲郎のどこふく風スペシャル《45分拡大版》(1/27、1/28、1/29、1/30)

※審議対象

【素材名】新番組「ビジネス・パワープレイ」

【内 容】高崎には、国内、世界に通じる技術、ノウハウを持つ企業がたくさん存在します。「ビジネス・パワープレイ」は、そんな企業のトップにスポットを当てたインタビュー番組です。業界の現況や、リーダーシップ、経営マインド、手法など、トップが持つ「パワープレイ（突破力）」について、ラジオ高崎の篠原悠介が切り込みます。

【放送日】木曜日 午前7時41分（モーニングエール内）※第5週はお休み
土曜日 午前9時（再放送） 日曜日 午後0時45分（再放送）
水曜日 午後7時15分（再放送）

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、広く意見を求めた。

委員各位の意見

新番組「ビジネス・パワープレイ」について

○高崎市内の企業を知るきっかけになり、また、普段なかなか聞くことができない会社代表の生の声や、企業の地域貢献についても聞くことができ、とても良い番組だと思った。

○出演者を知っていたので、プライベートでは見ることのない一面を知ることができて新鮮だった。今後の出演予定者の中にも別の知人がいるので、気にして聞いてみたい。

○経歴を振り返る話だけでなく、経営の苦労を聞くなどもっと話を掘り下げて、インパクトがある話を聞けるともっと良かったと思う。

○全体的に固い話が多いので、もう少し砕けた感じ・柔らかい雰囲気を出せると聴きやすいのではないか。

○前編・後編にわけて15分番組にするのではなく、30分の番組にしてみてもどうか。後編の放送が1週間後になると、前編の内容が抜けてしまうと感じた。30分番組にするのが難しいなら、再放送は1本にまとめて放送してはどうか。

○聞く側としては15分番組くらいがちょうどよいが、後編は一週間後でなく、もっと早くに聞けるとよいと思う。

(事務局)

通勤時間に聴いてもらえるよう朝のワイド番組内で放送しているため、15分番組になっている。再放送に関しては検討したい。

○実際に出演者の方の会社に行って、現場の様子などを収録させてもらうのも面白いのではないか。

○次回の出演者を紹介してもらって、リレー形式で繋げていくのはどうか。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

○「クラシカルアナトミー」は、演奏会では聞くことができない指揮者の裏話なども聞けて、クラシックファンとしてはとても嬉しい番組だ。

○外国語市政について、現在は4ヵ国語だけだが、他の言語も増やしてはどうか。また、外国人に高崎について色々と聞いてみるのも面白そうだと思う。

(事務局)

現在の原稿は日本語の市政情報を各言語に訳しただけなので、どんな情報を知りたいのかなど、もっと外国の方の要望を取り入れられるように検討したい。

○子供が出演する番組は保護者が必ず聴いてくれるので、中学生や高校生が出演する番組を増やしてみてもどうか。

○20年前や30年前に高崎で起こった事件や人物を取り上げて話す番組やコーナーを企画してみてもどうか。

○1/1の能登地震の時は、どのような対応をされたのか教えてほしい。

(事務局)

地震発生時は番組の進行を止めて、災害用の原稿に切り替えて放送した。また、本局では待機社員がNHK放送やLアラートをチェックしており、必要な情報をスタジオに送っていた。地震により北陸新幹線が止まってしまったため、揺れが収まってからは交通情報を随時流すようにした。

○番組の企画や作り方、また番組の軌道修正や終了するタイミングについて教えてほしい。

(事務局)

新番組は基本的に、春の新編成に合わせてスタートしている。以前は、リスナーに聞いてもらいたいと思うものを考えて番組にしていたが、今は、「ラジオ高崎に求められているものは何か・ラジオで聴きたいと思うものは何か」を考えて番組をつくっている。半年後に見直しをかけ、担当者と一緒にコーナーの軌道修正や新企画を考え、主に翌春の編成では1年を振り返って、継続か終了かを判断している。

・代表取締役社長大山駿作より

『ビジネスパワープレイ』は、インタビュアーの人生経験が反映される番組だと思う。担当アナウンサーはまだ若いが、これから色々と経験を積んで成長していったらいい。また、本日たくさんのご意見をいただいたので、それを少しでも番組の企画や制作に活かしていきたい。

以上